

# 02

キャリアステップ

## 本庁係長／留学

日本産酒類の  
未来に向けて  
～日本の魅力を世界に～



国税庁 課税部 酒税課  
政策調整係長

**山田 裕樹**

H26.4 国税庁 課税部 課税総括課  
H27.7 国税庁 調査査察部 調査課  
H28.7 郡山税務署 個人課税部門 国税調査官  
H29.7 現職



係員 → 係長／留学 → 課長補佐 → 国税局部長 企画官・室長 → 課長

ロンドンでの  
留学生活

ロンドン大学  
クイーンメアリー校  
(国税庁長官官房付)

**谷口 香穂**

H25.4 国税庁 長官官房 企画課  
H26.7 国税庁 課税部 法人課税課  
H27.7 江東西税務署 個人課税部門 国税調査官  
H28.7 国税庁 長官官房 総務課 審査企画係長

### お酒の仕事って？

お酒の仕事って何？国税庁とお酒って関係あるの？国税庁と聞いてイメージするのは税金だと思いますが、国税庁の任務の一つとして、「酒類業の健全な発達」があります。私のいる酒税課では、酒類の免許の付与に関する事務や酒税調査に関する事務だけでなく、日本産酒類の振興を担っています。日本産酒類の輸出量は年々増加しており、今、お酒の仕事がアツいのです。

### 酒類の国際交渉

国税庁では、日本酒や焼酎、日本ワインなどの日本産酒類の輸出拡大に向けた取組を進めています。輸出拡大のためには、海外における大規模展示会で日本産酒類をPRするといった方法もありますが、私が担当しているのは専ら国際交渉です。具体的には、外国に対し、EPA（経済連携協定）や

FTA（自由貿易協定）等を通じて、相手国の関税や非関税措置（関税以外の貿易障壁となっている規制）の撤廃、GI「日本酒」などの、ブランド価値向上に有効な地理的表示（GI: Geographical Indication）の保護を求めています。平成29年12月にEUとの間で交渉妥結した日EU・EPAにおいても、全ての日本産酒類の即時撤廃を確保しただけでなく、日本で流通している大部分の焼酎について、四合瓶や一升瓶のサイズでそのまま輸出できるようになるなど、今後の日本産酒類の輸出に大きく貢献するものとなっています。

ちなみに余談ですが、このようなお酒の仕事をしていると、お酒のラベル表示や製造方法等に詳しくなるため、宴会での話のネタには事欠きません。

### 新米係長として

私の係が担当している国際交渉では、世

界中の全ての国々を対象としており、戦略的な交渉の進め方が要求されるだけでなく、交渉の際には原則として通訳はつかず、自分で対応しなければなりません。このような業務を採用4年目の新米係長としてこなすには日々の努力が必要ですが、日々「日本としてどうすべきか」「日本の酒類産業の未来をどうしたいのか」を主体的に考えられるよう努力を続けています。



### 公共経営という分野

私は現在、ロンドン大学クイーンメアリー校において、MPA（公共経営修士）の学位取得を目指し勉学に励んでいます。MPAは政府やNGO（非政府組織）といった公共組織の的確な運営を目的として、政治学などの学問的知識と組織運営のための実務的な知識の習得を行うものです。このようなコースの特性上、クラスメイトは私同様公務員としての勤務経験を有している者も多く、授業の内容も教科書に載っている理論、というよりは、英国やその他の国で行政上問題となった事例、例えば国営病院で不適切な治療及び介護が恒常的に行われた事例などを用いて、皆

でその問題の原因やあるべき解決策について議論し、自分の考えをまとめることが求められます。また、ロンドンには行政の中心ですので、授業の一環として英国政府の中央省庁で、現在まさにBrexit（欧州連合からの英国脱退）準備のため日々働く公務員や、EU（欧州連合）での勤務経験を持つ教員とのセミナーもしばしば行われます。

### 様々な機会をとらえて

留学では語学の壁はもちろん、教育分野などの馴染みのない分野の知識不足を痛感することが多々あります。一方で、セミナーやクラスメイトとの議論を通じて公

共経営に関する新たな知識、考え方を習得できることは重要な成長の機会ですし、このような機会を得られたことに感謝と楽しみを感じる日々です。留学に限らず様々な機会を前向きにとらえて自分を成長させる、そのような志をもつ皆さまと一緒に働けることをとても楽しみにしております。

